

きょうと地域連携交付金 自己評価調査（令和7年度分）

団体名： 京田辺市

（千円）

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 （実績額）	交付金 充当額	事業の実施状況 （主な実績等）	自己評価 （事業の効果等）
1	地域づくり連携推進事業	防災	地域防災推進事業	（１）京田辺市防災訓練の実施 （２）防災情報の発信 （３）自主防災組織設置および防災士育成補助 （４）指定避難所物資の備蓄	5,144	2,500	・自主防災組織等設置・育成助成金により、26組織に対し総額2,372千円を支援し、組織数が3組織増加した。 ・11月24日（月・祝）に京田辺市防災訓練を実施し、市民約1200人が来場された。 ・電話・FAX・メールによる防災情報配信システムを活用した。（年間１３件）	自主防災組織に交付した育成助成金により、各自主防災組織が防災資機材の購入を行い、自主防災力の向上が図られた。 また、これまで各避難所毎に実施していた避難所運営訓練に替え、市域全体を対象とした「京田辺市防災訓練」を実施したところ、市民約1200人が来場され、災害協定締結企業等による展示や災害模擬体験などにより防災に関する市民の意識啓発が推進された。 さらに、防災情報配信システムを活用することで、地域防災力の向上に寄与した。
2	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	スポーツによる地域振興事業	本市が実施する独自性が高いスポーツコンテンツの推進に取り組み、地域の収益性の向上やにぎわいの創出を目的とする。	7,000	3,500	・第38回全国小学生ハンドボール大会を4日間にわたって開催し、全国44都道府県（男子44チーム、女子42チーム）から選手・関係者4,000人以上が参加。 ・R7ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ観客数：46千人）	全国で唯一の小学生ハンドボールの日本一を決める大会を開催し、地域住民の交流やスポーツ振興に寄与した。また、令和7年5月19日にツアー・オブ・ジャパン2025京都ステージの開催し、地域の収益性やにぎわいの創出に寄与した。
3	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	タナクロ運営支援事業 （農福連携による観光拠点・地域振興）	Park-PFI制度による民間活力を活用し運営する京田辺クロスパークについて、子どもから高齢者、障がいのある人など全ての人々が交流する拠点として、また、農業体験等での観光拠点として、さらに障がいのある人が訓練を兼ねて栽培する農作物や市内特産品を扱う直売所、マルシェの開催等により地域振興の場とするもの。また、障がいのある人が当該公園の管理・運営に携わり、将来的には当該公園管理事業者や地元農家、民間企業への就労に繋がるよう支援を行う。	32,700	16,000	・障がいのある方が当該公園の管理・運営に携わるにあたっての支援を行った。（R7：16名） ・京田辺クロスパークにてマルシェやワークショップ等の多様なイベントを実施 （R7：イベント開催回数 29回） （R7：来園者数 約47,000人）	来園者が土や緑にふれあう体験や環境学習のできる観光拠点として、地域振興に寄与した。 公園管理事業者と法人、市の３者により、公園内で就労する障がいのある人への支援体制を確立した。

4	地域づくり連携推進事業	文化振興	複合型文化施設等整備事業	文化ネットワークの中心となる文化拠点として、複合型文化施設を整備するもの。	15,994	7,000	複合型公共施設整備基本計画の検討にあたり、以下の取組を行った。 ・市民ワークショップ2回（施設整備・図書館整備） ・小学生・中学生ワークショップ2回 ・図書館登録サークルへのヒアリング13団体 ・図書館整備に関するオンラインアンケート ・基本計画（案）に対してのパブリックコメント	ワークショップやヒアリングを実施し、市民の方の交流と意見集約の機会を設けることで、市民参画に関する市民満足度向上に寄与した。
5	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	安全安心な通学環境	（1）通学路交差点への注意喚起舗装 （2）通学安全整理員の配置	7,244	3,000	・京田辺市シルバー人材センター委託により、通学安全整理員を配置した。 （登校15箇所、下校6箇所、年間204日、通学安全整理員37名）	安心安全な通学路づくりに寄与した。
6	地域づくり連携推進事業	文化の力	史跡広場事業用地	令和3年度に学研都市京都土地開発公社が購入し所有している天理山古墳群とその周辺の土地について、史跡広場として市民や子ども達が学び古墳に親しめる場として活用できるよう、買い戻しを行う。	17,950	7,158	・天理山古墳群の保存活用に向け、史跡南東部斜面の土質調査や史跡南側の境界確認等を実施した。また、調査内容を専門家会議に報告し専門家からの助言を得た。 ・綴喜古墳群関係などの出前講座や講演会、説明会等を計9回実施した（文化財に関する講座等の参加者：R7：1002名） ・子ども向けに勾玉づくり体験教室を開催した	綴喜古墳群などの出前講座や体験教室の実施により、市民が文化に親しむ機会の創出を図ることができた。
7	市町村間連携推進事業		可燃ごみ広域処理施設整備事業	枚方市、京田辺市の両市の可燃ごみ処理施設の後継施設として、京田辺市内に共同で新たな広域処理施設を整備するもの。 （H26：基本合意、H28：基本協定の締結）	469,389	30,000	・枚方京田辺環境施設組合に対する負担金の支出 負担金額 R6：238,393千円→R7：515,850千円	新施設について12月から試運転を開始し、令和7年度末から本格稼働を行うことができた。
8	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業		新しい学校づくりプラン策定事業	将来的な児童・生徒数の変動を見据えた、学校の規模や配置の最適化方針を示すとともに、市民ニーズに合った教育機会を確保するため、「新しい学校づくりプラン」を策定するもの。	14,744	2,700	・京田辺市教育大綱の基本理念実現に向けて、「新しい学校づくりプラン～未来を担う子ども達の学びを支える学校」を策定した。	多様な教育課題に十分に対応できる小中学校の学校環境整備を推進するための基盤となる計画策定ができた。従来の長寿命化計画を見直すことで後年のコスト削減に寄与した。